

北海道の 学校図書館

発行 北海道学校図書館協会
 会長 佐藤 正行
 事務局長 新津 智哉
<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>
 印刷所 (株) 有 伸 商 会
 TEL (011)814-6211

北海道学校図書館協会 2023年度(令和5年度)の活動始まる

2023年度(令和5年度)の定期総会は、5月13日(土)に北海道立道民活動センター(かでの2・7)520研修室を会場に開催されました。御来賓の皆様を代表して、北海道立図書館長の堀本厚様よりご挨拶いただきました。役員改選が行われ、再任の佐藤正行会長、新津智哉事務局長をはじめ、役員が選出されました。(詳しくは3頁の役員一覧をご覧ください。)事務局校は、本年度も札幌市立西陵中学校に設置されます。



◆2023年度(令和5年度) 研究・事業活動計画◆

(1) 研究活動

1. 第45回北海道学校図書館研究大会・苫小牧大会の開催・協力 [2023年9月1日(金) 2日(土)]
2. 第63回北海道図書館大会の開催・協力 [2023年9月7日(木) 8日(金)]
3. 第56回北海道学校図書館研修講座の開催 [2024年1月9(火)~11日(木)]
4. 各支部及び関係機関(読進協・全国SLA・道立図書館等)との協力研究
5. 全道研究部長会の開催 [2024年1月9日(火)・10日(水)]
6. 事務局研修会の開催 [必要に応じて随時開催]
7. 全校読書活動や朝読書、学校図書館の活用を推進している実践校の把握と情報交流の推進
8. 『実践資料集 学校図書館☆学び方の指導ワークシート集』の活用
9. 北海道地区セミナーの開催検討(支部研究会を拡大して)

(2) 組織・運動活動

1. 全国SLA機関誌『学校図書館』の購読、普及促進SLBAの加入促進と活用普及
2. 支部組織強化と道事務局(幹事)拡大の取組
 - ・支部研究会・研修会、その他研究会への講師派遣
 - ・石狩地区支部の立ち上げ、日高地区支部の再開
 - ・全道への情報発信・提供
 - ・道事務局(幹事)の組織拡大
3. 各支部間の情報交流(広報・ホームページ・全道研究部長会など)
4. 機関紙『北海道の学校図書館』322号~325号4回発行
5. ホームページの効果的な運用と情報交流の促進
6. 「子どもの読書活動推進計画」実体化のための活動の展開 [第5次計画 2023~2027年]
7. 司書教諭の配置促進と図書館担当者の組織化
8. 「読書の時間」を活用するなど読書活動の推進

9. 「朝読書」の啓発・普及

10. 学校司書の実態調査と配置拡大の要請に関する取組
11. 「学校図書館図書整備費」の完全消化のための活動の展開、全国パンフレットの活用
12. 学校図書館への新聞購入の取組

(3) 普及・事業活動

1. 第69回青少年読書感想文全道コンクール、第49回北海道指定図書読書感想文コンクールの開催
2. 第35回読書感想画中央コンクール・第11回読書感想画全道コンクールへの参加・開催
3. 2023年度読書感想文集『北海道の読書』の発行・普及
4. 優良図書選定研修会 毎月2回開催(札幌市教育委員会 3階入札室)
5. 毎月の優良図書の紹介(2023年4月~2024年3月)
 - 「夏休みにおすすめする図書」選定・紹介
 - 「冬休みにおすすめする図書」選定・紹介
6. 2023年度版『北海道青少年のための200冊』の普及
7. 第49回北海道指定図書の普及、第50回北海道指定図書の選定

(4) 協賛・協力活動

1. 第51回中学生作文コンクール審査協力(事務局・6地区)
2. 第45回全道高等学校図書館研究大会石狩大会(高文連)への協力 [2023年9月28日(木)・29日(金)]
3. 第44回北海道子どもの本のつどい札幌大会への協力 [2023年9月23日(土)]
4. 優良出版図書の推薦
5. 公共図書館・および図書館に関わる各種文化行事等への協力・援助
6. 優良児童図書展示会への協力(トーハン、シーピーエス、学協など)
7. トーハンブックフェア2023年への後援

会長挨拶

人と人をつなぐ学校図書館に

北海道学校図書館協会会長 佐藤 正行

(札幌市立二条小学校長)



今度の定期総会は会同しての開催とし、関係の皆様、道内各支部の皆様と挨拶を交わしたり、情報交換をしたりして、和やかに終えることができました。役員選考においては、引き続き北海道学校図書館協会の会長を拝命いたしました。微力ではありますが、学校図書館の充実・発展に寄与できるよう努力してまいります。

さて、当協会の活動は、研究活動・組織・運動活動、普及・事業活動、協賛・協力活動に整理し取り組んでいます。第45回北海道学校図書館研究大会 苫小牧大会は9月1・2日に開催を予定しており、すでに1次案内を配付したところです。さらに、令和8年9月には全国学校図書館研究大会 札幌大会を計画しており、現在、準備委員会が大会の土台づくりを進めています。ご支援をお願いいたします。昨年度の読書感想文・読書感想画両コンクールにおいて、北海道から選ばれた作品が全国表彰を受けました。隔週で行っている選定会では、新刊本を一心に読み込み、「北海道青少年のための200冊」の入替えや優良図書の紹介を行っています。また、当協会の幹事には、司書教諭や学校司書が多く所属し、専門性を発揮して全道の学校図書館の利活用と充実に貢献しています。

全国SLA第67回学校読書調査によると、不読率が近年減少傾向でしたが、昨年度は残念ながら全ての校種で増加しました。また、最近話題のChatGPTなどの生成AIの出現により、既存の創作活動にはなかった新たな問題が生じています。学校司書の配置や学校図書館の整備等、継続した課題に加えて取り組んでいく必要があります。

作家や芸術家は自分の思いを表現し作品にしますが、創作活動が個人で完結するのではなく、文壇やサロンなど仲間との交流によって刺激を受け意欲が高まるのだと思います。読書活動も似ているところがあり、3つのセンター機能が活かされると、学校図書館に人と人の交流が生まれ、読書で得る知識や楽しさが広がるでしょう。学校図書館とは人と人をつなぎ読書活動を豊かにする場と言えます。学校図書館にたくさんの子どもが集うよう、皆様の一層のお力添えをよろしくお願いいたします。

第55回北海道学校図書館研修講座に参加して

誰のために、何をめざして学校図書館を守り、育てるのか！

北見市学校司書 大澤 知世

11月中旬に研修案内を受領して、3年ぶりの集合開催であること、共通講座の講師を務めるのが渡邊重夫先生であることを知り、「参加したい！行かなければ！」と即座に足と宿の手配を済ませ、申込当日の午前零時を回ってすぐに受講申請を送信、ワクワクしながら参加案内を待ちました。幸い天候にも恵まれ、体調も元気いっぱいに学びと交流の2日間を過ごすことができました。

共通講座「民主主義社会と学校図書館 ―『図書館の自由に関する宣言』と関連して―」は、渡邊先生の一言一句から溢れ出る、図書館と本と民主主義に対する熱い想いに圧倒される2時間半でした。後日、北見の学校司書たちに資料を回覧した際にも「日頃の業務に追われる中で、つい薄らいでしまっていた「誰のために、何をめざして学校図書館を守り、育てるのか」を再確認でき、新たな気持ちでこれからの仕事に臨む心構えができた」という感想が聞かれました。次代を担う子どもたちと、教導く教職員の方々の「知る自由」「調べる自由」「発信する自由」を支える学校図書館でなければならないという思いを強くした次第です。

佐藤敬子先生の「楽しく進める情報活用能力の育成指導 2022」では、持参した教科書と学びの指導体系表を「眼光紙背に徹」して読む機会を得ました。実践例としてご紹介くださったお孫さんの自由研究にも大きな感銘を受けました。受講して得た気づきと視点を、これからの学習支援に活かしていきます。

「調べる力をつける学校図書館のレファレンス」では、事前にいただいた課題に取り組んだ結果を踏まえて、レファレンスの基本や参考となる資料の選び方などについて、多くの知識を得ることができました。仕事納めの午後を図書館で調べものに費やすという最高の時間を過ごした新田裕子先生、本当にありがとうございました。

「学校司書の研修 ～現在地と未来を語ろう」は、申込の段階で迷わず受講を選びました。発足から9年が経ち、総勢13名にまで拡大した北見市の学校司書の研修の指針や手法などを確立させていきたいという思いで受講しました。研修項目の整理に思考ツールを活用するアイデアは、さっそく北見で実践しています。少人数での講座ならではの密度の濃い交流を、講師の児玉優子先生、司会の新田裕子先生、参加者の皆さまとできたことも嬉しい収穫でした。

時節柄、たいへん煩雑だったであろう集合開催の準備に奔走してくださった関係者、スタッフの皆さまに深く感謝申し上げます。来年も再び一同に会することができますように。

2023年度(令和5年度) 北海道学校図書館協会役員

Table with 3 columns: 役職 (Role), 氏名 (Name), 所属学校名 (School Name). Rows include 会長 (President), 副会長 (Vice President), 監査 (Auditor).

Table with 3 columns: 役職 (Role), 氏名 (Name), 所属学校名 (School Name). Rows include 理事長 (Chairman), 理事 (Council Members).

Table with 3 columns: 役職 (Role), 氏名 (Name), 所属学校名 (School Name). Rows include 事務局長 (Secretary General), 次長 (Deputy Secretary).

Table with 3 columns: 役職 (Role), 氏名 (Name), 所属学校名 (School Name). Rows include 総務部 (General Affairs), 研究部 (Research), 選定部 (Selection), 事業部 (Business).

2023年度(令和5年度) 北海道学校図書館協会役員

Table with 6 columns: 支部 (Branch), 会長 (Chairman), 勤務先 (Employer), 事務局長 (Secretary General), 勤務先 (Employer), 勤務先電話 (Phone Number). Lists regional branches and their staff.



2023年度(令和5年度) 北海道の先生がおすすめる本

北海道指定図書



小学校低学年の部(1・2年)



がっこうにまにあわない

ザ・キャビンカンパニー/作・絵
あかね書房 1,650円(税込)
不思議な世界をひたすら突っ走る。今日は学校に遅れちゃいけないわけがあるのだ。スピード感とスリルでドキドキの話!



うみべのおはなし 3にんぐみ

ジェームズ・マーシャル/作 小宮 由/訳
大日本図書 1,540円(税込)
なかよしの3人組が、自分の考えたお話を順番にしていくなりに...!? 予想を超えた展開が面白い! ユーモアよみもの



イライラのあらし

ルイズ・グレッグ/作 ジュリア・サルダ/絵
吉井 知代子/訳 金の星社 1,540円(税込)
"イライラのあらし"がきたらどうしたらいいの!? どんどんふくらんでいくイライラと、じょうずにつきあいます。



いのちが かえっていくところ

最上 一平/作 伊藤 秀男/絵
葦心社 1,430円(税込)
自分で釣りあげたイワナを食べる事になったたもん。釣りを通じて命の躍動と重さを実感する少年の姿を描きます。

中学校の部



マスクと黒板

滝野 京子/作
講談社 1,540円(税込)
休校明けの生徒たちの前に見事な黒板アートが。誰が描いたのか? コロナから「ふつう」をとりもどす中学生たちの物語。



スクラッチ

歌代 朔/作
あかね書房 1,650円(税込)
コロナ禍で黒く塗りつぶされた中三の夏。その中でもがきながら自分らしい生き方を掴み取る中学生たちの"爪痕"を描く。

小学校中学年の部(3・4年)



はじめましてのダンネバード

工藤 純子/作 マコカワイ/絵
くもん出版 1,540円(税込)
「相手の気持ちに立って想像すること」や「多様性を尊重すること」の大切さを伝える、くもんの創作児童文学です。



バスが来ましたよ

由美村 嬉々/文 松本 春野/絵
アリス館 1,540円(税込)
全盲の男性が小学生に助けられて続けた、バス通勤。「バスが来ましたよ」の声は受け継がれ...小さな親切のリレーの物語。



貝のふしぎ発見記

武田 晋一/写真・文 福田 宏/監修
少年写真新聞社 1,980円(税込)
貝の正体は軟体動物! タコやイカも、ウミウシやカタツムリもみんな仲間。ふしぎな生き方を探ると驚きの連続です。

小学校高学年の部(5・6年)



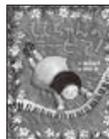
父さんのゾウ

ピーター・カーナバス/作 美馬 しょうこ/訳
文研出版 1,540円(税込)
オリーブは母が亡くなり、父さんは悲しみにくれている。そのそばにはいつもゾウがいる。ゾウを消したいオリーブは...



たぶんみんなは知らないこと

福田 隆浩/作 しんや ゆう子/イラスト
講談社 1,540円(税込)
知的障がいのある小五の女の子と兄の物語。人々の優しさを生かす力に変えて、沖縄戦を生き抜いたひめゆり学徒のももちゃん。その半生を描いたノンフィクションです。



ももちゃんのピアノ 沖縄戦・ひめゆり学徒の物語

柴田 昌平/文 阿部 結/絵
ポプラ社 1,650円(税込)
音楽を生かす力に変えて、沖縄戦を生き抜いたひめゆり学徒のももちゃん。その半生を描いたノンフィクションです。



北海道の本を読みましょう!

第69回 青少年読書感想文全道コンクール 第49回 北海道指定図書読書感想文コンクール

■主催/北海道学校図書館協会・毎日新聞社北海道支社
■後援/北海道・北海道議会・北海道教育委員会・公益財団法人北海道青少年育成協会 ■選定協力/北海道読書推進運動協議会

感想文は夏休み明けに、学校に出してください。詳しくは、「応募のきまり」をご覧ください。 ●ホームページ 北海道学校図書館協会 検索

第45回北海道学校図書館研究大会苫小牧大会のご案内

研究主題「子どもたちの確かな学びと豊かな心を育てる学校図書館
～チーム読書！多様な学び・ひろがる心～」

1. 主 催：公益社団法人全国学校図書館協議会 北海道学校図書館協会 苫小牧学校図書館協会
2. 主 管：第45回北海道学校図書館研究大会苫小牧大会運営委員会
3. 後 援：文部科学省 北海道教育委員会苫小牧市教育委員会 胆振管内教育委員会教育長協議会
胆振管内校長会 苫小牧市中学校長会 苫小牧市小学校長会
北海道高等学校長協会日胆支部 北海道特別支援学校長会日胆支部
北海道私立中学高等学校協会胆振支部
北海道私立幼稚園協会苫小牧・日高支部北海道私立幼稚園協会西胆振支部
胆振管内教頭会苫小牧市小中学校教頭会
4. 大会日程：2023年（令和5年）9月1日（金）～2日（土）
5. 会 場：苫小牧市立清水小学校
6. 記念講演：内沼晋太郎氏（NUMABOOKS代表、ブック・コーディネーター）
7. 参加費：5,000円
8. 大会事務局：第45回北海道学校図書館研究大会苫小牧大会 運営事務局長
〒053-0054 北海道苫小牧市明野新町6丁目3番1号
苫小牧市立明野小学校 教諭 鈴木祐亮
TEL：0144-57-5611 FAX：0144-57-5612
メールアドレス：akeno-es7@hokkaido.school.ed.jp

北海道学校図書館研究大会苫小牧大会に向けて

◀◀◀ 6会場で授業公開！ 研修と交流を大いに深めましょう！ ▶▶▶

北海道学校図書館研究大会苫小牧大会事務局長 松 井 操 人

（苫小牧市立泉野小学校 校長）

第45回北海道学校図書館研究大会苫小牧大会の開催まであと3ヶ月を切りました。これまで北海道学校図書館協会のご指導を仰ぎながら、授業や分科会の準備を精力的に進め、大会の準備も最終段階に入りました。

本大会では「子どもたちの確かな学びと豊かな心を育てる学校図書館～チーム読書！多様な学び・ひろがる心～」を研究主題とし、研究成果の発表や公開授業及び提言に基づく研究協議を行います。9月1日（金）午前は苫小牧市内6会場で授業公開、授業分科会（分科会Ⅰ）、午後は苫小牧市立清水小学校を会場に開会式、全体会、提言分科会（分科会Ⅱ）、18時30分からは新苫小牧プリンスホテル「和～なごみ～」にて交流会を、また、9月2日（土）は苫小牧市立清水小学校を会場にセッション、記念講演、閉会式を予定しています。記念講演は、昨年、苫小牧市にオープンした「東開文化交流サロン」図書室の立ち上げにコーディネーターとして携わったNUMABOOKS代表の内沼晋太郎氏をお招きして行います

現行の学習指導要領において、指導計画作成等に当たって配慮すべき事項として、「学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実すること」とされています。また、GIGAスクール構想により、情報活用能力の系統的指導も重要視されています。このように、学校図書館は、児童生徒の確かな学びを育成する基盤としての役割が今まで以上に期待されており、苫小牧学校図書館協会では、上記研究主題に基づき研究を進めてきました。

20年ぶりの苫小牧市での学校図書館研究大会の開催です。大会当日には全道各地より多くの皆様にご参集いただき、学校図書館についての研修を深めるとともに交流を深めたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



第55回北海道学校図書館研修講座に参加して

● 本と人をつなぐブックトーク ●

士別市立士別南小学校 司書教諭・絵本専門士 若林 みずほ

今回ステップアップコースの講義・実習「やってみよう！SDGsのブックトーク」の講師としてお話しする機会をいただきました。私は小学校の授業では児童へ、研修講座や講演では教職員・図書館職員・保護者等へ向けたブックトークを行っています。その中で感じていることを含めながら、ブックトークの準備・当日・事後には、どのような配慮が必要かお話させていただきました。

学校図書館の書架に本がある、それだけではなかなか読書意欲を向上させることはできません。本は人によって手渡されていくものです。書店でも、表紙を見せた展示がされた上で、ポップ、帯など、誰かの言葉が本と人をつないでいます。本と人をつなぐ役割が人の生の声によって行われるブックトークは、より本の魅力を伝える力が強く、読書意欲向上には効果がある方法です。対象者に適した本を、効果的な順序で関連付けて紹介することによって、「読んでみたい」という気持ちをもたせることができるからです。講座の前半には5年生に向けたブックトークの実演をしながら、選書や見せ方、トークの内容についてお話ししました。その中で特にお願いしたのは「読み聞かせを必ず入れてほしい」ということです。ブックトークを聞いている時には「読んでみたい」と思っている、様々な要因で実際には本にたどり着かない人がいます。全員が読書できるよう、テーマに沿った本を人数以上の冊数用意しておいて、ブックトーク後に読書タイムを設定できると良いのですが、そのような時間設定がいつもできるとは限りません。ブックトークの中に読み聞かせを入れると、全員が「聞き読み」を体験できることになるので、読み聞かせの方法も含めてお話しました。また、本の見返し部分とカバーの扱いによって、読み聞かせの効果がどのように変わるのかも説明させていただきました。

講座の後半には、参加者それぞれが対象者とテーマを設定して、ブックトークの計画を立てる演習を行いました。参加者や私が持参した本にSDGsのゴールカードを付けて記録写真を撮り、今後の資料を作った後、テーマカードやブックトークリストを書いて交流しました。参加してくださった方自身が「読みたい」と思う本に出合える時間となり、講座後誰かに本を紹介することにつながっていたら嬉しいです。

第69回 青少年読書感想文全国コンクール 課題図書

Table with 4 columns: 著者名, 書名, 出版社, 定価(税込). Rows are categorized by school level: 小学校低学年, 小学校中・高学年, 中学校, 高等学校.

第69回 青少年読書感想文全道コンクール
第49回 北海道指定図書読書感想文コンクール

応募のきまり

2023年度(令和5年度)

1 目的

- (1)北海道に住む青少年に広く読書を奨励し、明日の社会を背負うにふさわしい人間の育成をはかる。
(2)読書は、人間形成に寄与する部面が多くあり、このことから読後に自分を考えさせ、自己の生活の充実をはかり、豊かな心情の育成につとめる。

2 主催

北海道学校図書館協会・毎日新聞社北海道支社

3 後援

北海道・北海道議会・北海道教育委員会・公益財団法人北海道青少年育成協会

4 応募資格

満20歳(2003年4月2日以降出生の者)までとする。

5 対象図書

- (1)自由(読書)——自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションを問いません。
(2)課題(読書)——[課題図書]公益社団法人全国学校図書館協議会が指定した図書
(3)指定(読書)——[北海道指定図書]主催者の指定した図書

6 区分

- (1)小学校低学年の部(1、2年)
(2)小学校中学年の部(3、4年)
(3)小学校高学年の部(5、6年)
(4)中学校の部
(5)高等学校の部

7 応募締切

- (1)各支部締切 2023年夏休み明けから9月中(支部毎に設定しますので北海道学校図書館協会のホームページを必ずご確認ください)
(2)北海道締切 2023年10月3日(火)必着

※自筆の応募作品で、最終まで審査を行います(返却はしません)。お手元にコピー等をとられてから、ご応募ください。

8 字数

- ①400字詰原稿用紙使用、校名等記入されたものを使用しないこと。②小学校低学年800字以内、小学校中・高学年1,200字以内、中学校・高等学校2,000字以内、③句読点1字、改行のための空白箇所は字数として数える。④規定の文字数に達しない、字数の少ない、短い作品は道審査では対象にはなりません。制限字数いっぱい書いてください。

9 応募作品

- (1)各対象(図書)ごと一人1点未発表のもの。複数作品応募可。在籍学校を通じ(校内審査後)市、町、地区各支部に提出のこと。支部の確認等はホームページでご覧ください。(6月以降、今年度の支部明記)北海道学校図書館協会でご確認ください。
(2)支部のない場合は、直接北海道学校図書館協会へ。支部からの応募には点数枠があります。直送の場合にも厳選の上、ご応募ください。送り先=〒060-0062 札幌市中央区南2条西15丁目291-98 親展 札幌市立二条小学校 校長 佐藤正行 TEL 011-261-6596 FAX 011-261-5762

- (3)作品は自筆のこと。(コピーは不可、自筆不可能な場合は理由を添える)
(4)必要事項を応募票に記入し、作品の右上にとじる。
(5)作品(原稿用紙)には、ますの外に感想文の題名のみを記入し、直接文を書き出すこと。学校名、学年、氏名等を書かないこと。

10 入賞発表

- (1)支部——10月中に各支部ごとに発表
(2)全道——11月中旬、受賞者、該当学校長、各支部に連絡 12月上旬、新聞発表等

11 表彰式

2023年12月3日 日曜日 特別賞・優秀賞の受賞者 於：札幌市内ホテル

12 その他

応募作品には必ず応募票(全国の様式に準ずる)をつけること。応募票には、必要事項をもれなくはっきりと記入すること。(本人、保護者が記入する)応募票の児童生徒氏名は正しい表記で。(入賞の際、その字で賞状を作成します)

Form for application ticket (応募票) including fields for title, address, school, author, and publication details. Includes instructions and a note about the application deadline.

学校図書館情報

■2023年度（令和5年度）

北海道学校図書館協会 定期総会開催

5月13日（土）に、北海道立道民活動センター（かでの2・7）520研修室を会場として、北海道立図書館の堀本厚館長様をはじめとするご来賓（北海道教育庁生涯学習推進局、北海道青少年育成協会、トーハン北海道支店、日本出版販売北海道支店、図書館ネットワークサービス、北海道ブックシェアリング、北海道図書館研究会）の皆様、全道各地から5支部（札幌、空知、苫小牧、帯広、釧路）、役員、幹事など約40名が参加して、令和5年度定期総会が開催されました。

事務局・総務部・研究部・選定部・事業部の各活動報告及び今年度の活動計画案、会計決算・監査報告、さらに、今年度予算案、本協会会則、研究大会規定について、また、新役員の選考におきましても承認されました。

協議の中では、今年度9月1日（金）～2日（土）に行われる第45回北海道学校図書館研究大会苫小牧大会の内容、2026年に予定している第45回全国学校図書館研究大会（札幌大会）の構想について報告と提案がされました。

また、今年度もご来賓の皆様から近況等を含めてご挨拶をいただき、北海道教育庁の五十嵐様からは、「北海道こどもの読書活動計画」〈第五次計画〉の概要、北海道立図書館の山崎様からは学校向けサービスについて情報提供をいただきました。

今後も一層綿密な連絡体制づくりを進めながら、関係各位、各支部会員とのつながりを深めていく所存です。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

■2023年度「北海道青少年のための200冊」リスト

選定部による選定作業の努力の結果、新たに45冊の入替えができました。北海道青少年育成協会から6月中に、道内すべての学校・公共図書館・教育委員会等に配布されます。北海道の子どもたちにぜひ読んでほしい良書のリストです。図書購入の際に参考としてご活用いただき、普及についてのご協力をお願いいたします。

■「北海道指定図書」の普及・活用を！

「北海道指定図書」の学校図書館での購入を広げましょう。読書感想文コンクールの課題図書と一緒に購入し自校の図書館に備えることで、読書感想文コンクール応募への意欲喚起につなげてください。北海道のどこの学校図書館でも、「北海道指定図書」を読むことができる環境づくりをぜひお願いいたします。

■第51回「中学生作文コンクール」への応募を！

このコンクールは、中学生として未来社会のあるべき姿や将来の生き方などを考えてもらうことにより、健全な心の育成を図ることを目的としています。今年のテーマは「私の推し」です。応募要項はHBCから発送となります。応募期間は7月1日～9月21日。表彰式は1月に全道5か所で行われる予定です。多くのご参加をお願いします。

事務局

事務局長 新津 智 哉（札幌市立西陵中学校長）

事務局校 札幌市立西陵中学校

〒063-0835 札幌市西区発寒15条2丁目5-1

TEL 011-662-9323 FAX 011-661-3729

Amenity B-Coat

本の破損や汚れを防ぎながら、抗菌効果を発揮するブックカバー「アメニティBコート」ポリプロピレンフィルムのため、燃焼時にも塩素ガスなど有害物質が発生せず、安心です。ご指定の上ご愛用下さい。

キハラ株式会社

〒062-0035 札幌市豊平区西岡5条3丁目8-15

TEL (011) 857-3331

FAX (011) 857-5211

◆新刊紹介

『わが町を知ってもらおうなら！ 北海道の図書館員が薦めるブックガイド』

監修 野口武悟、青木竜馬

編著 加藤重男

（北海道図書館研究会）

発行：中西出版株式会社

2023年3月31日初版

1,800円＋税

ISBN 978-4-89115-418-9C0036



広大な北海道には、地域の特色を活かしたユニークな図書館がたくさんあります。

今回、道内の図書館・図書室に「わが町を知ってもらおうなら！」というテーマで本の紹介アンケートをお願いし、170市町村から寄せられた208タイトルの回答を編集。さらに現地を訪れ取材した26館のインタビュー、書店や図書館・教育関係者などから寄せられたコラムを掲載。

多くの情報が手元の端末で手に入る今の時代に、その土地を知るために読んでほしい「本」を図書館員の言葉で紹介。ご当地の図書館・図書室を巡り、「そこにしかない本」に出会う旅へと誘う、「ブックツーリズム」の媒介ともなる一冊です。

編集後記

新型コロナウイルス感染症の分類が五類に移行され、世の中は以前の活気を取り戻しつつあります。協会においても、子どもたちがますます意欲的に読書活動に取り組めるよう各事業を進めてまいります。引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

（編集：村山 知成 野村 邦重）
大久保 雅人 新津 智哉

ホームページアドレス

<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>